

## 事業報告

事業名	平成29年度第3・4回屋久島研究講座	事業体系	環境学習事業
期 日	平成29年12月9日（土）13：30～17：30		
場 所	屋久島離島開発総合センター（宮之浦）		
対象者	屋久島町民	参加者数	130名（内カト登録受講証明書発行 名）
（概 要）	<p>演 題 「ヤクシカ問題と屋久島の生態系管理を考える」</p> <p>講 師 矢原徹一（九州大学大学院理学研究院）  梶 晃一（東京農工大学大学院農学研究院）  田中 準（環境省屋久島自然保護官事務所）  手塚賢至（屋久島照葉樹林ネットワーク）  揚妻直樹（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）</p> <p>内 容 屋久島ではヤクシカの個体管理が試みられている。この情報が町民に適切に伝わっているか。ヤクシカの個体管理をどのように生態系管理に結びつけていくかは課題として残されている。ヤクシカの希少種戸上の影響を説明し、個体管理と生態系管理をどのように進めれば良いかについて討論した。</p> <p style="text-align: center;">※ 屋久島町エコツーリズム推進協議会登録ガイド更新条件の対象となっています。</p>		
（講演時の様子）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>ポスターセッションが同時に行われ、財団の生物多様性保全奨励事業の支援を受けた方が下記の通り発表した。</p> <p>松原幹・「屋久島のニホンザル種子散布におよぼすシカの糞食の影響」</p> <p>山口昌秀・「ボランティア体験・学習キャンプ開催による生物多様性の啓発活動 in 口永良部島2017」</p> <p>辻田有紀・「屋久島の希少なランをどう護る？共生菌からアプローチする保全」</p> <p>村田政穂・「ヤクタネゴヨウ林分における外生菌根菌の埋土孢子群集」</p>		
資料等	別添のとおり		

